

レジオネラ症に注意！！

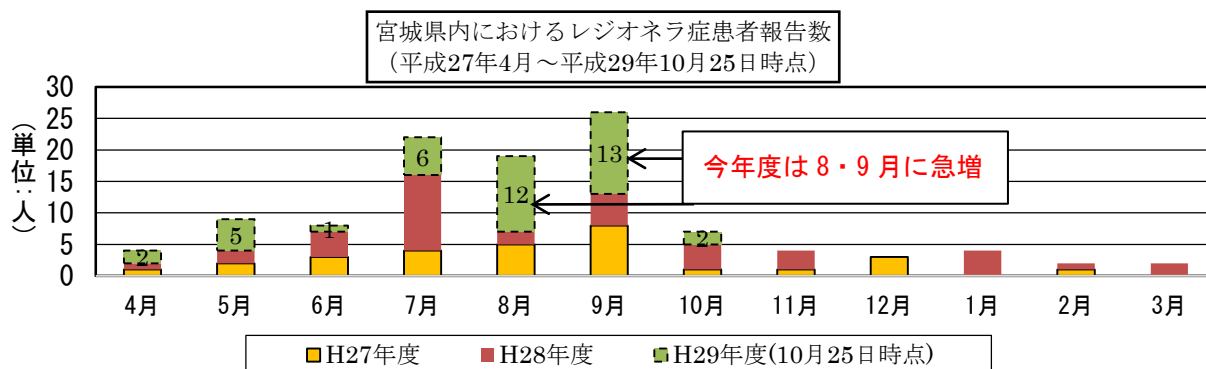
～土木・建築関係の方は特に注意してください！～

平成29年10月27日
宮城県保健福祉部
疾病・感染症対策室

レジオネラ症とは

レジオネラ症は、「レジオネラ属菌」が原因で起こる感染症です。レジオネラ属菌は、土中や湖沼など自然界に生息しているほか、お風呂や加湿器などでも繁殖し、菌が混入した土や水を吸い込むことで感染します。症状には、咳や発熱、悪寒、筋肉痛があり、治療を行わなかった場合、重症化することもあります。

今年度は既に、過去3年で患者数が最も多くなっておりますので、感染予防に心がけましょう。



作業員の方は要注意

今年度は、県内で土木・建築関連の仕事をしている方々の患者が過去3年で最も多く出ています。作業中に舞い上がる土煙や、霧状のしぶきの中にレジオネラ菌が存在し、それを吸い込んだことが原因と考えられます。

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (10月25日時点)
患者報告数	29人	40人	41人
内土木・建築職	2人	7人	11人

感染予防策

レジオネラ属菌を吸い込まないようにする事が肝心です。土の混ざった細かい水しぶきや土煙が発生する作業では防塵マスクを着用しましょう。また、自宅では、水の溜まる場所(お風呂・加湿器)では、定期的に水を入れ替える、こまめに掃除を行うなど、菌が繁殖しないよう心がけましょう。